

令和8年度稻敷市立中学校オンライン英会話業務委託（単価契約）  
プロポーザル評価要領

1 プロポーザルの評価

(1) プロポーザルの評価は、本要領に基づいて行い、それを参考に審査委員会の審議により選定する。

(2) 企画提案書等の評価表及び配点は、下記のとおりとする。

2 企画提案書等の配点

評価項目	評価項目の種類	配点
企画資料等	・過去3年間（令和5年4月1日以降）の地方公共団体等の同種業務（1クラス（35人程度）すべての生徒が同時にマンツーマンによるオンライン英会話を実施する）の請負実績とする。ただし、複数年契約で履行を継続しているものについては、満1年間を経過している者であること。 ※会社法が定める吸収分割の方法により子会社化した事業者においては、分割前の実績を記載して差し支えない。	20
	・見積金額	10
企画提案書	オンライン英会話業務の内容 ・業務内容の内容や方針 ・実施体制及び危機管理体制 ・講師の確保及び指導力の担保 ・提案内容の妥当性及び実現性 ・独自提案	50
ヒアリング	・専門技術力 ・取組意欲 ・プレゼンテーション力	20
合 計		100

3 企画資料の評価基準

評価項目の種類	評価基準	配点
企業実績	・過去3年間（令和5年4月1日以降）の地方公共団体の同種業務（1クラス（35人程度）すべての生徒が同時にマンツーマンによるオンライン英会話を実施する）の実績 ・5件以上の実績を有する者は20点 ・3件から4件の実績を有する者は10点 ・1件から2件の実績を有する者は5点 ・0実績を有しない者は0点	20

#### 4 見積書の評価基準

評価項目の種類	評価基準	配点
見積	・価格点 = 10点 × (最低提案価格/提案価格) (小数点以下第2位を四捨五入して第1位止め)	10

企画提案書提出時に、本業務に係る必要経費を算出した参考見積書1部を提出すること。

#### 5 企画提案書の評価基準

提出された企画提案書について、次の評価基準に基づき評価する。

なお、企画提案書の内容がほとんど記載されておらず、提案内容が判断できない、業務目的に反する記載や事実誤認等、適切な業務執行が妨げられる内容となっている、実施方針と特定テーマの企画提案に矛盾等があり、整合性が図られていない場合は評価しない。

評価項目の種類	評価基準	配点
業務内容の内容や方針	<ul style="list-style-type: none"><li>会社のコンセプト、業務内容等が、本市が求める業務の目的の達成に適しているか。</li><li>中学生を対象に講師によるオンライン英会話を実施するに当たり、受託業務に対する基本的な考え方、方針が明確であるか。</li><li>地方自治体や学校法人において、児童・生徒を対象としたオンライン英会話事業（自宅受講を含む）または、これに類似する事業実績が十分であるか。</li></ul>	10
実施体制及び危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"><li>事業の施行に当たり、十分な実施体制（専任担当者を中心とした全体管理、教材作成、オンライン英会話提供、現地オフィスの運営管理、通信ソフトの保守やトラブル対応など）を有しているか。（日本語で意思疎通を図ることができる現地従事者及びオンライン英会話を行う学校への派遣従事者の配置状況を含む。）</li><li>学校の時間割及び生徒が自宅受講を希望する時間帯で、レッスン予約を確約できる体制があるか。</li><li>講師を含む従事者の欠員、システムの不具合等のトラブルに対する対応策、予防策等の十分な危機管理体制を有しているか。</li><li>通信ソフトの通信障害が発生した場合、原因究明の方法が示され、障害対応が的確かつ迅速に行われるか。また、原因究明により、本市のネットワーク環境による障害が想定される場合のサポート体制</li></ul>	10

	<p>についても構築されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校からの実施要望、キャンセル等の計画変更要望に対し、迅速かつ柔軟に対応できる体制を有しているか。※不可抗力の事由（天災・学級閉鎖等）、不可抗力外の事由（学校行事等）を想定</li> <li>・ 個人情報の保護について十分な配慮があり、社内規定等が整備されているか。</li> <li>・ 令和8年4月から、確実に業務を実施するために必要な体制が整っているか。また、契約事務の遂行が可能か。</li> </ul>	
講師の確保及び指導力の担保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師の採用基準や選定方法は的確か。</li> <li>・ 講師の研修の履歴状況と研修計画が示され、十分に研修を受けた指導力のある講師の配置が可能か。</li> <li>・ 生徒の習熟度に応じた対応及び特別支援学級の生徒への対応は適切であるか。</li> <li>・ 日本文化に対する理解があり、生徒と信頼関係を築くことのできる講師の配置が可能か。</li> <li>・ 講師の指導内容や方法の改善または講師の変更の要請に対し、適切かつ迅速な対応が可能か。</li> </ul>	10
提案内容の妥当性及び実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンライン英会話の実施方法（指導案やふり返りシート等の教材を含む）の提案は、生徒が主体的に学び、英語によるコミュニケーション能力や学習意欲を向上させることができる内容となっているか。</li> <li>・ 事業の円滑かつ効果的な実施に向けた教職員対象の研修内容は適切であるか。</li> <li>・ 通信ソフトの仕様（通信方法、インストール・アップデートなど保守管理の方法、操作方法、動作環境）は生徒や教員にとって適切であるか。また、市販のソフトを使用する場合は通信ソフト名を記載し、自社開発のソフトを使用する場合は、仕様について、詳細に記載されているか。</li> <li>・ 事業実施評価の実施方法や報告内容が適切であるか。</li> </ul>	10
独自提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市の中学校において、オンライン英会話の活用を研究していくにあたり、事業者独自の提案がなされているか。</li> <li>・ 独自の提案及び工夫に客観性・実効性・説得力があるか。</li> </ul>	10
小計		50

### （1）企画提案書の評価

企画提案書の評価は、提案内容の的確性、実現性、創意工夫等及び技術力等についての評価とする。採点は、評価項目の採点基準に基づき評価点（小数点以下第3位を四捨五入した値）を算出し、50点を満点とする。

### 【評価項目の採点基準】

評価	評価内容	採点基準
A	優れている	配点×1.00
B	やや優れている	配点×0.75
C	普通	配点×0.5
D	やや劣っている	配点×0.25
E	劣っている	配点×0

## 6 ヒアリングの評価基準

ヒアリングの質疑応答の内容について、次の評価基準に基づき評価する。

評価項目の種類	評価基準	配点
専門技術力	・当該業務における課題やその解決策などを含めた業務方針の明確な説明 ・関連分野の業務経験及び知識レベル	10
取組意欲	・疑問点の質問など積極的な取り組み姿勢	5
プレゼンテーション力	・質問に対する回答の的確性及び説明の簡潔性	5
小計		20

### (1) ヒアリングの評価

ヒアリングの評価は、企画提案書に記載された事項に関する企画提案内容、あるいは取組み姿勢等に関する質疑応答を行い、専門技術力、取組意欲等について評価する。採点は、評価項目の採点基準に基づき評価点（小数点以下第3位を四捨五入した値）を算出し、20点を満点とする。

## 7 企画提案書の特定

プロポーザル審査委員会は、提出された技術資料、企画提案書、及びヒアリングについて、各々の評価基準に基づき算出された合計点が最も高い者を当該業務に最適な者として特定する。

なお、合計点が同点となった者が複数あった場合は、企画提案書の評価の得点がより高い者を特定者とする。